第４回　野田市生物多様性のだ戦略市民会議

【書面開催】

次　第

議　事

（１）自然環境調査の実施状況（秋季調査の結果速報）　【資料１】

（２）社会環境調査の実施状況（アンケート調査の実施概要）　【資料２】

（３）企業等委員への個別ヒアリングの実施状況　【資料３】

（４）今後の進め方等について　【資料４】

【配布資料】

- 資料１　自然環境調査の実施状況（秋季調査の結果速報）
- 資料２　社会環境調査の実施状況（アンケート調査の実施概要）
- 資料３　企業等委員への個別ヒアリングの実施状況
- 資料４　今後の進め方等について
- 資料５　資料１～４の概要説明

資料２

社会環境調査の実施状況（アンケート調査の実施概要）

１．調査の目的

「生物多様性のだ戦略」の策定に向けた調査・検討の一環として、市内の全小学校５年生の児童およびその保護者等を対象とする「野田市生きものの豊かさアンケート」を実施する。

アンケートでは、市内の子どもたちの現在の自然との関わりの状況や認識、その保護者の方々の自然に対する認識やニーズについて把握すること、更には、アンケートの実施を通じて、自然や生きものについて、考えていただく機会とすることを目的として実施する。

また、何年後かに調査を行った際に比較分析が行えるよう、調査内容（調査対象・調査方法・設問等）についても再現性に留意して記録を行うものとする。

２．実施方法

- 市内の小学校の協力を得て、小学校５年生の児童および、その保護者等を対象とした「野田市生きものの豊かさアンケート」を実施する。
- 子供の保護者等へのアンケートは、子供がインタビューする形態をとることによって、大人の協力（回収率）を高めるとともに、子供たちにとっての環境教育効果の向上に寄与するよう留意する。

■対象：市内の小学校５年生およびその保護者等

３．アンケート内容

- 生物多様性に関する認知度を把握する。
- 市民が望む自然環境のあり方について把握する。
- 野田市の生きものの現状に関する市民の認識や情報を把握する。

↓

- 過去の文献や現在の自然環境調査で把握できない生きもの情報を吸い上げる。
- 抽出した情報に対し世代間（子供世代・親世代・祖父母世代）、および地区間での違い（ギャップ）を把握し、戦略に反映させていく。
- 子供たちが望む遊び場や自然を『子供からのメッセージ』として戦略に記載する。
- 設問は、前回調査からの市民意識の変化を把握するため、原則として前回と同じ設問とするが、自然と共存するまちづくりのシンボルであるコウノトリに係る認識も把握できるよう留意する。
- 集計を効率的に行えるよう、マークシート形式のアンケート用紙を作成し、実施した。

４．参考資料の作成

- アンケートの実施をきっかけに生物多様性に関する理解を児童・大人ともに深めてもらうために、生物多様性について説明した参考資料を配布した。
- 生物多様性の３つのレベルのひとつである「遺伝子の多様性」については、第３回市民会議における委員からの指摘を踏まえ、紹介する生きものを変更し、より生物多様性をイメージしやすい資料に修正したものを配布した。
- 設問に挙げた種については、資料裏面に「野田市にくらす生きものたち」を掲載した。

変更前　　**変更後**

参考資料の変更部分

5．アンケートの実施

・令和２年１１月にアンケート実施し、１２月に各小学校より回収（回収率は児童約９７%、大人約 89%）。現在、回答を集計中である。

アンケート回答数　児童：1,305　大人：1,200　　計 2,505

小学校名	アンケート回答数	
	児童	大人
中央小学校	116	91
宮崎小学校	87	83
東部小学校	32	28
南部小学校	120	120
北部小学校	81	79
川間小学校	26	19
福田第一小学校	11	11
福田第二小学校	13	11
清水台小学校	127	107
柳沢小学校	59	53

小学校名	アンケート回答数	
	児童	大人
山崎小学校	79	72
岩木小学校	132	130
尾崎小学校	62	58
七光台小学校	71	63
二ツ塚小学校	41	42
みずき小学校	105	105
木間ケ瀬小学校	16	16
二川小学校	60	51
関宿小学校	15	15
関宿中央小学校	52	46

6．スケジュール

令和２年 11 月	アンケートの実施 ・児童対象：授業内 ・大人対象：宿題
12 月上旬	アンケートの回収
令和３年１月～３月	データ入力（回収されたものから随時）
4～5 月	データの集計・解析、とりまとめ
6月	市民会議で調査とりまとめ結果を報告

アンケート用紙：あなた用（児童用）

アンケート①あなた用（児童用）

あなた自身の自然に対する考えや、よく遊んでいる自然の遊び場、見たことのある生きものなどについて、教えてください。
あてはまるものをすべてえらび、○をぬりつぶしてください。「その他」をえらんだときは、カッコ内にその内容を書いてください。

問1　あなたのかよっている小学校の名前を教えてください。

○ 中央　○ 宮崎　○ 東部　○ 南部　○ 北部　○ 川間　○ 福田第一　○ 福田第二　○ 清水台　○ 柳沢
○ 山崎　○ 岩木　○ 尾崎　○ 七光台　○ 二ツ塚　○ みずき　○ 木間ケ瀬　○ 二川　○ 関宿　○ 関宿中央

問2　あなたの性別を教えてください。

○ 男子　○ 女子　○ その他　○回答しない

問3　自然のある場所の中で、ふだん、よく遊んでいる場所、よく行く場所はどこですか？

○ 公園　○ 神社・寺　○川・草はら　○田んぼ・水路　○ あき地　○ 森や林　○ 校庭　○外で遊ばない　○遊ぶ場所がない　○ その他

（　　）

問4　外で遊ぶとき、どんなことをして遊びますか？

○ 虫とり　○ 魚とり・魚つり　○ 花つみ　○ 木のぼり　○ 水あそび
○鬼ごっこ・かくれんぼなどのゲーム　○野球やドッジボールなどのスポーツ　○ 外で遊ばない　○ その他

（　　）

問5　次の生きもののうち、家の近くや通学路、あそび場には、どんな生きものがいますか？

○ホタル　○カブトムシ　○クツワムシ　○メダカ　○ドジョウ　○カエル　○ヘビ　○ヒバリ　○ツバメ　○フクロウ
○コウノトリ　○タヌキ　○わからない　○その他

（　　）

問6　家の近く、または野田市内にどんな自然がありますか？また、どんな自然があったらいいな、と思いますか？

○バッタなどの虫とりができる原っぱ　○魚つりができる小川や池　○木のぼりができる森　○野草や木の多い公園　○谷つ（林に囲まれた谷の中の田んぼ）
○生きものがたくさんくる広場　○特に自然がほしいと思わない　○わからない　○その他

（　　）

問7　10年後、どんな生きものが野田市内でふえるといいな、と思いますか？

○ホタル　○カブトムシ　○クツワムシ　○メダカ　○ドジョウ　○カエル　○ヘビ　○ヒバリ　○ツバメ　○フクロウ
○コウノトリ　○タヌキ　○わからない　○その他

（　　）

問8　10年後、野田市の自然や生きものがどうなったらいいと思いますか？また野田市の自然や生きものについて気になっていることがありますか？

○自然の生きものが増えてほしい・減らないでほしい　○公園や水辺など、自然の中で遊べる場所がほしい　○自然を守るために何かやっている人が増えてほしい　○コウノトリが市内でくらしたり、子育てしてほしい　○自分の好きな生きものが増えてほしい
○自分のきらいな生きものはいなくなってほしい　○今のままでいい　○自然はきらい・いらない　○その他

（　　）

問9　自然やたくさんの生きものを守っていくために、今、自分ができること・したいと思う事は、どんなことですか？

○動物や植物をとらずに、観察するだけにする　○みぢかな自然をしらべてみる　○エネルギーや水、ものを大切に使う　○市外の動植物を市内の自然に植えたり放したりしない　○生きものの生息する場所（ビオトープ）をつくる
○自然や生きものの大切さを家族や友だちに伝える　○その他（　　）

問10　「生物多様性（せいぶつたようせい）」という言葉を知っていましたか？

○ 意味も知っていた　○ 聞いたことはあるが、意味は知らなかった　○ 知らなかった

問11　地球温だん化によって、もともと野田市にはいなかった、南の地方の生きものが、野田市にすみはじめているということを知っていましたか？

○ 理由も知っていた　○ 聞いたことはあるが、理由は知らなかった　○ 知らなかった

問12　ペットや野田市以外で捕まえてきた生きものを、自然の中に放してはいけないということを知っていましたか？

○ 理由も知っていた　○ 聞いたことはあるが、理由は知らなかった　○ 知らなかった

ご協力ありがとうございました！「アンケート②インタビュー」もよろしくおねがいします。

アンケート用紙：インタビュー用（保護者用）

アンケート②インタビュー用

あなたの周りにいる大人に、野田市の自然や生きものについて、インタビューをしてください。「１人」聞く人を決めて、アンケートの質問を聞いて、あてはまるものをすべて答えてもらい、○をぬりつぶしてください。「その他」を選んだときは、カッコ内にその内容を書いてください。

問１　あなたのかよっている小学校の名前を教えてください。

○ 中央　○ 宮崎　○ 東部　○ 南部　○ 北部　○ 川間　○ 福田第一　○ 福田第二　○ 清水台　○ 柳沢
○ 山崎　○ 岩木　○ 尾崎　○ 七光台　○ 二ツ塚　○ みずき　○ 木間ケ瀬　○ 二川　○ 関宿　○ 関宿中央

問２　答えてくれる人は誰ですか？

○ お父さん・お母さん　○ おじいさん・おばあさん　○ 近所の方　○その他

問３　答えてくれる人の年れいは何才ですか？

○20～30才未満　○30～40才未満　○40～50才未満　○50～60才未満　○60～70才未満　○70才以上

問４　答えてくれる人の性別は何ですか？

○ 男性　○ 女性　○ その他　○回答しない

問５　答えてくれる人は、野田市に住み始めて何年くらいになりますか？

○ ５年未満　○６～１０年　○１１～２０年　○２１～３０年　○３１～４０年　○４１～５０年　○５１年以上

問６　答えてくれる人のお仕事は何ですか？

○ 主婦　○ 会社員　○ 公務員　○ 自営業　○ 農業　○ 学生　○ 無職　○ その他

問７　子ども（小学生）のころ、いつもどんな場所であそんでいましたか？

○ 公園　○ 神社・寺　○川・草はら　○田んぼ・水路　○ あき地　○ 森や林　○ 校庭　○ 外で遊ばなかった
○ 遊ぶ場所がなかった　○ その他（　　）

問８　そこで、どんなことをしてあそびましたか？

○ 虫とり　○ 魚とり・魚つり　○ 花つみ　○ 木のぼり　○ 水あそび
○鬼ごっこ・かくれんぼなどのゲーム　○野球やドッジボールなどのスポーツ　○ 外で遊ばない　○ その他
（　　）

問９　子どものころ、家の近くや通学路、あそび場には、どんな生きものがいましたか？

○ホタル　○カブトムシ　○クツワムシ　○メダカ　○ドジョウ　○カエル　○ヘビ　○ヒバリ　○ツバメ　○フクロウ
○コウノトリ　○タヌキ　○わからない　○その他（　　）

問 10　現在、家の近くや周辺には、どんな生きものがいますか？見たことがあるものすべてを選び、○をつけてください。

○ホタル　○カブトムシ　○クツワムシ　○メダカ　○ドジョウ　○カエル　○ヘビ　○ヒバリ　○ツバメ　○フクロウ
○コウノトリ　○タヌキ　○わからない　○その他（　　）

問 11　家の近く、または野田市内にどんな自然がありますか？また、どんな自然があったらいいな、と思いますか？

○バッタなどの虫とりができる原っぱ　○魚つりができる小川や池　○木のぼりができる森　○野草や木の多い公園　○谷つ（林に囲まれた谷の中の凹んぼ）
○生きものがたくさんくる広場　○特に自然がほしいと思わない　○わからない　○その他
（　　）

問 12　将来、子どもやまごの世代になったとき、どんな生きものが野田市内でふえるといいな、と思いますか？

○ホタル　○カブトムシ　○クツワムシ　○メダカ　○ドジョウ　○カエル　○ヘビ　○ヒバリ　○ツバメ　○フクロウ
○コウノトリ　○タヌキ　○わからない　○その他（　　）

問 13　守り残していく必要があると思う野田市内の自然はどこですか？

○利根川　○江戸川　○関宿落堀（せきやどおとしぼり）　○五駄沼（ごだぬま）　○目吹（めふき）の池や沼　○座生川（ざおうがわ）　○清水公園　○中央の杜（もり）　○木野崎遊水地（きのさきゆうすいち）　○三ツ堀里山公園（みつぼりさとやまこうえん）
○江川（えがわ）地区　○利根運河　○理窓会公園（りそうかいこうえん）　○その他（　　）

問 14　将来、子どもやまごの世代になったとき、野田市の自然や生きものがどうなったらいいと思いますか？

○自然や生きものが増えてほしい・守り残していきたい　○今ある自然をこれ以上減らさないでほしい　○野生の生きものと共にくらす必要がある　○身近に自然とふれ合える場所が必要である　○コウノトリが子育てできるよう多くの生きものをとりもどす
○子どものためにも自然が必要　○川・水をきれいにしてほしい　○自然のある公園・広場がほしい　○その他（　　）

問 15　自然やたくさんの生きものを守っていくために、今、自分ができること・したいと思う事は、どんなことですか？

○動物や植物をとらずに、観察するだけにする　○みぢかな自然をしらべてみる　○エネルギーや水、ものを大切に使う　○市外の動植物を市内の自然に植えたり放したりしない　○生きものの生息する場所（ビオトープ）をつくる
○自然や生きものの大切さを家族や友だちに伝える　○その他（　　）

問 16　「生物多様性（せいぶつたようせい）」という言葉を知っていましたか？

○ 意味も知っていた　○ 聞いたことはあるが、意味は知らなかった　○ 知らなかった

インタビューは以上で終了です。答えてくれた人にお礼を伝えてください。ご協力ありがとうございました！

「野田市生きものの豊かさアンケート」参考資料

自然のめぐみと生物多様性

私たちの生活を支え「自然のめぐみ」

私たちの生活は、きれいな空気や水、食べもの、燃料、衣服など、すべて「自然のめぐみ」によって支えられています。「自然のめぐみ」を受け取ることができなければ、私たちは生きていくことすらむずかしいのです。

自然のめぐみを得るためには、自然が健全に守られている必要があります。そのためには、「生きものが多様である」ということがとても重要です。では、生きものが多様であるというのは、どういうことなのでしょう。

出典：環境省「こども環境白書2016」

生物多様性とは

地球には、わかっているだけで約 175 万種の生きものがいます。まだ発見されていない生きものもあわせると 3,000 万種にもなるといわれています。これらの多種多様な生きものは、お互いを支えあい、時には食う食われるの関係で、バランスをとりながらくらしています。さまざまな生きものがいることによって、豊かな自然が健全に守られているのです。

このように、「さまざまな生きものがくらしている」ことを、**生物多様性**といいます。生物多様性には、「生態系」「種」「遺伝子」の３つのレベルがあります。

① 生態系の多様性

森林、海洋、草はら、湿地など、いろいろなタイプの自然、つまり生きものがくらす場所があります。

森林

湿地

海洋

草はら

② 種の多様性

動物、植物、細菌など、いろいろな種類の生きものが存在し、お互い支えあいながらくらしています。

ニホンアマガエル

ミドリシジミ

タチツボスミレ

③ 遺伝子の多様性

同じ種類の生きものでも、異なる遺伝子を持ち個性があります。形や模様などに違いがある種もいます。

ナミテントウ

いろいろな模様のナミテントウがいるね。同じ種でも地域によって遺伝子が大きく違うものがいることもわかってきたよ。生きものをむやみに移動させたり放したりしないようにしようね。

生物多様性にせまる危機！！

日本の生物多様性は、４つの危機にさらされています。1975～2000 年の 25 年間には、地球全体で４万種の生き物が絶滅したと言われています。これは１日に４種の生きものが絶滅した計算になります。

第一の危機　人間が自然を壊している！

埋め立てや伐採などの開発によって自然環境を悪化させたり壊してしまったことで、そこにくらす生きものはくらせなくなり、減ったり絶滅してしまいました。

第二の危機　自然と人間のかかわりが薄れて自然が荒れる！

私たちの身近な場所では、田んぼで稲を育てたり、山から燃料となる木材を切り出すなど、人間が自然を利用することで成り立つ自然がありました。しかし人間が利用しなくなったため、自然のバランスが崩れ、そこにくらしていた生きものの種類や数が減ってしまいました。

キキョウ

秋の七草で有名なキキョウは、日当たりの良い草はらを好む植物。田んぼで米がつくられず草刈りがされなくなったり、森の手入れがされなくなったことで、キキョウが好む環境が減ってしまって、絶滅の危機にあるんだよ。

第三の危機　持ちこまれた生きものの悪影響！

外来種など人によって違う場所から持ちこまれた種が、もともと地域でくらしていた生きものを食べたりくらす場所をうばったりすることで、もともと地域でくらしていた生きものが減ったり、生きもの同士のバランスを崩しています。

アライグマ

アライグマはもともとアメリカにいる動物だよ。ペットとして日本に連れて来られたんだけど、逃げ出したり、捨てられたりして、カメや鳥のヒナを食べたり、タヌキのすみかをうばってしまうなどの問題が起きているんだ。

第四の危機　地球全体の問題。地球温だん化によって絶滅する！

地球温だん化によって、世界の平均気温が 1.5～2.5 度上がると、春に氷が早く溶けだしたり、海水の温度があがったり、海面が上昇したりすることによって、生きものが絶滅してしまう危険性が高まるといわれています。

考えてみよう　私たちが生物多様性を守るためにできることはなんだろう？

野田市の取組-コウノトリの野生復帰

野田市では、自然と共存する地域づくりのシンボルとしてコウノトリの飼育・繁殖を行い、2015年から12羽を野外に放鳥しています。また、コウノトリのエサにもなる豊かな生きものを育むために、冬に水をはる冬水たんぼや黒酢を使った無農薬の米づくり、田んぼの生きもの調査などをすすめています。

左：野田市で飼育しているコウノトリ
右：無農薬の米づくりをしている市民農園

野田市にくらす生きものたち

みんなは、どんな生きものを見たことがあるかな？

①ホタル（写真はヘイケボタル）	②カブトムシ	③クツワムシ	④メダカ（写真はミナミメダカ）
赤に黒の縦ライン。夏の夜、田んぼで光りながら飛ぶのはオス。	夏の夜、クヌギやヤナギなどの樹液に集まります。	体は緑色または褐色で、ガチャガチャと大きく鳴きます。	田んぼや水路で群れになって泳ぎます。
⑤ドジョウ	**⑥カエル（写真はトウキョウダルマガエル）**	**⑦ヘビ（写真はアオダイショウ）**	**⑧ヒバリ**
田んぼや水路の泥の中でくらしています。	田んぼや湿地などでくらします。ンゲゲゲ、ンゲゲゲと鳴きます。	体長 2mになりますが、毒はありません。家の守り神とも。	春を告げる鳥ともいわれ、ピチュピチュと飛びながら鳴きます。
⑨ツバメ	**⑩フクロウ**	**⑪コウノトリ**	**⑫タヌキ**
春に来て民家の軒などで子育てをする、身近な渡り鳥。	森にくらし、ネズミなどを食べます。ホーホーと鳴きます。	田んぼや河川でドジョウ、魚などを食べます。羽を広げると2mにも。	林でくらします。近年アライグマにすみかをうばわれています。

写真提供：（公財）日本生態系協会